

WaveCutter ユーザガイド

1 . WaveCutter とは

WaveCutter は、数十分に及ぶ大きな WAV ファイルを指定した長さの WAV ファイルに分割するツールです。LP レコード、カセットテープなどのアナログソースの音をデジタルに変換する際、片面単位でまとめて PC に読み込んで大きな WAV ファイルとし、WaveCutter を用いて簡単な操作で曲単位、あるいは適当な区切りごとの小さな WAV ファイルに分割することができます。WaveCutter は以下の特徴をそなえています。

1-1 . WaveCutter の特徴

1-1-1. 秒単位、ミリ秒刻みのきめ細かな編集が可能

「WAV ファイル編集グリッド」で、秒単位（±500 ミリ秒オフセット付、すなわち任意の位置）で分割位置を最小 0.001 秒刻みで指定することができます。

1-1-2. 無音部検知機能

WAV ファイルの無音部を検知して視覚的に表示し、区切り位置を指定する際の目安とします。ただし、WaveCutter は自動的に無音部でファイルを分割することはしません。ライブ録音ソースの場合は必ずしも分割位置は無音になりませんし、アナログレコードの場合などは、曲間にノイズが入って無音になっていない場合もあり、自動的に分割してしまうとかえって不都合な点が多いからです。

1-1-3. 音を聞きながら編集可能 分割指定位置までの再生機能

マウスのクリック操作で任意の位置を簡単に再生することができます。また、指定した位置から「次の分割指定位置までの再生」の機能を使うことにより、正確な分割位置を容易に設定できます。

【注意】

WaveCutter で扱えるサウンドファイルは、サンプリング周波数 44.1KHz、ステレオ 16 ビットフォーマットの WAV ファイルのみで、それ以外のフォーマットのファイルには対応していません。

1-2. 機能制限

WaveCutter はシェアウェアです。評価期間（1 ヶ月）を超えてご利用いただく場合には、ライセンスキーをご購入の上ご登録ください。ライセンスキー未入力の状態では、次の機能制限があります。

- ・ファイルの分割は最大 4 分割までに制限される
- ・ファイルの最初の 15 分のみ編集ができる

これら 2 点以外の機能制限はありません。ライセンスキーをご購入・設定していただくことでこれらの制限が解除されます。

1-3. ライセンスキーの購入方法等

WaveCutter のライセンス料は、¥1,500 です。

WaveCutter のライセンス料の送金は、キーは、NIFTY 送金代行システム（準備中）、ベクターシェアレジ、銀行振込で受け付けています。シェアレジ手数料、振り込み手数料などは、ご負担ください。ライセンス料をお送りいただくと、折り返しライセンスキーを発行させていただきます。WaveCutter のライセンスキー登録画面で、ライセンスキーを入力いただくと、上記の機能制限が解除されます（具体的な設定方法などは、後述します）。

1-3-1. NIFTY 送金代行システムをご利用の場合（準備中）

ホームページ（<http://hp.vector.co.jp/authors/VA017945/>）で詳細をご案内します。

1-3-2. ベクターシェアレジをご利用の場合

ホームページ（<http://hp.vector.co.jp/authors/VA017945/>）で詳細をご案内します。

1-3-3. 銀行振り込みの場合

「WaveCutter ライセンスキー申し込み希望」と明記の上、住所、氏名、電話番号、メールアドレスを添えて、メールで NBH00725@nifty.ne.jp までお申し出ください。折り返し、お申し込みの手順、口座番号などをお知らせします。

1-4. WaveCutter ご利用にあたっての条件

WaveCutter のご利用にあたっては、以下の条件にご同意ください。

1-4-1. 試用期間

試用期間は1ヶ月とします。1ヶ月を超えてご利用いただく場合は、必ずライセンス料をお支払いの上ご登録ください。

1-4-2. ライセンスおよびライセンスキー

1つのライセンスおよびライセンスキーは、一人のユーザが2台までのハードウェアプラットフォームにインストールして WaveCutter を使用する権利を与えるものです。その範囲を超える場合は、ライセンスキーを追加購入していただく必要があります。

ライセンスおよびライセンスキーの第三者への転売、譲渡、貸与は禁止します。お支払いいただいたライセンス料は、いかなる理由があろうとも返金いたしませんので、あらかじめご了承ください。

1-4-3. 著作権

WaveCutter および全ての添付ドキュメント等の著作権は、作者に帰属します。

1-4-4. 再配布

金銭が伴わない配布は、自由に行ってかまいません。

雑誌、フォーラム、インターネット上のライブラリなどへの掲載は、事前に書面（電子メールを含む）で作者の許可を取ってください。（連絡先：nbh00725@nifty.ne.jp）

再配布および雑誌、フォーラム、インターネット上のライブラリなどへの掲載にあたっては、作者が提供する形式そのままに配布してください。ファイルの一部の配布・掲載、形式を変更しての配布は禁止します。

1-4-5. 免責

このソフトを使用したことによるいかなる障害や損害に関して、作者は、一切の責を負いません。また、不都合を完全に修復することの責務は負いません。

1-5. サポート

WaveCutter についてご不明の点は、nbh00725@nifty.ne.jpまでメールでお問い合わせください。また、WaveCutter に関する各種サポート情報を提供する、WWW の開設を予定しています（URL：<http://hp.vector.co.jp/authors/VA017945/>）ので、ご利用ください。

メールによるお問い合わせは、多数のメールが集中した場合、個々のお問い合わせにお答えできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

2 . インストール / WaveCutter の起動 / アンインストール

2-1. WaveCutter のインストールと起動

適当なフォルダを作り、ファイルを解凍します。実行に必要なファイルは、WaveCutter.EXE のみです。適当なフォルダに移動してください。また、必要に応じて、ショートカットを作成してスタートメニューに加えるなどしてください。

2-2. ライセンスキーの登録

About/Register メニューから、Register を選択してください。すると、ユーザネームとライセンスキーを入力するダイアログボックスが表示されますので、指定されたユーザネーム（ライセンスキーをお申し込みの方のお名前を指定させていただきます）と指定されたライセンスキーを入力します。

以上で、指定できる分割ポイントの数、編集できるファイルの長さ制限が解かれます。

2-3. アンインストール

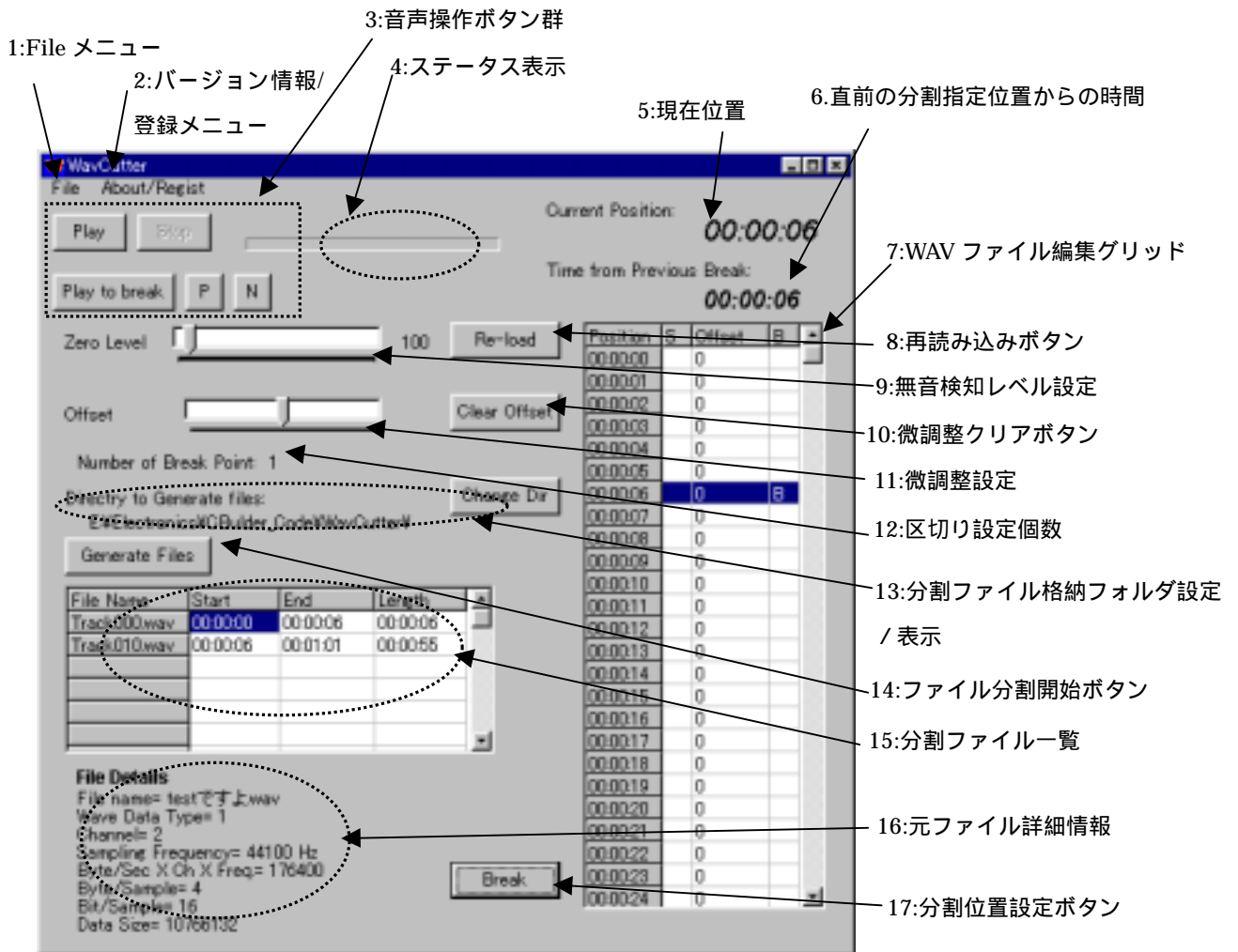
ライセンスキーを登録していない場合は、レジストリなどは一切操作していませんので、解凍して生成されたファイルを削除していただければ WaveCutter を消去できます。

ライセンスキーをご登録済の場合は、WaveCutter の About/Register メニューから UnRegister を選択して登録を解除した後 WaveCutter を終了し、解凍してできたファイルを削除してください。

3. リファレンス 各部の説明

操作方法については、この章の説明を参考にしながら、次章の「4. 一般的な使い方」をご覧ください。

3-1. メイン画面



3-1-1. File メニュー

Open : 分割する WAV ファイルを指定します。このメニューを選択すると、ファイル開くためのダイアログボックスが表示されますので、分割する WAV ファイルを選びます。「開く」ボタンを押すと、ファイルが選択され、タイムスタンプが WAV 編集グリッドに表示されます。読み込みの際、設定された無音検知レベルにしたがって無音部を検知し、無音検知覧に表示します。ファイルの読み込みには、WAV ファイルの長さに応じて時間がかかります。読み込みの進展具合は、ステータス表示に表示されます。

Exit : プログラムを終了します。

3-1-2. About/Register メニュー（バージョン情報 / 登録）

About WaveCutter: バージョン情報などを表示します

Register: ライセンスキー登録画面（ライセンスキーの入力画面）を表示します

Unregister: 登録したライセンスキー情報を削除します。

3-1-3. 音声操作ボタン群

Play: 読み込んだサウンドファイルを再生します。

Stop: 再生を止めます。

Play to Break: 直後の分割位置まで再生します。

P: 直前の分割ポイントまで再生位置を戻します。

N: 直後の分割ポイントまで再生位置を進めます。

3-1-4. ステータス表示

WAV ファイルの読み込み、分割ファイルの書き込みなどの進展具合を表示します。

3-1-5. Current Position（現在位置時間表示）

ファイルの先頭に対する現在の指定位置（再生位置）を時分秒で示します。

3-1-6. Time from Previous Break（直前の区切り位置からの時間表示）

直前の分割ポイントに対する現在の指定位置（再生位置）を時分秒で示します。

3-1-7. WAV ファイル編集グリッド

分割位置、再生位置などを指定します。

クリック: 現在位置をクリックした位置に移動します。

ダブルクリック: 現在位置から再生を開始します。再生中の場合は再生を停止します。

右クリック: 現在位置を分割位置に指定するためのメニューを表示します。

3-1-8. Re-load（最読み込みボタン）

Zero Level で設定された無音レベルに基づいて、無音検出を実行しなおします。

3.1.9 Zero Level（無音検知レベル設定）

無音検知のレベルを設定します。曲間にノイズのほとんどないレコードの場合は 100 くらい、ライブ録音の拍手の切れ目でしたら 500～1000 くらいが最適です。ただし、元となる WAV ファイルの録音状況によって異なりますので、ゼロレベルを調節して Re-load を押して再読み込みを数回繰り返し、適当に無音マーク（X）がつくようにします。

3-1-10. Clear Offset (微調整クリアボタン)

現在位置の微調整値をゼロにします。

3-1-11. Offset (微調整値設定)

現在位置の微調整値を設定します。バーをドラッグすることで、-500 ミリ秒から+500 ミリ秒の範囲で設定することができます。

3-1-12. Number of Break Point (区切り設定個数表示)

現在設定されている区切りの数を表示します。

3-1-13. 分割ファイル格納フォルダ設定 / 表示

分割したファイルを保存するドライブ / フォルダを設定します。1分あたり約 10MB の容量が必要になりますので、十分な空き容量のあるドライブを指定してください。

3-1-14. Generate Files (ファイル分割開始ボタン)

指定した分割位置にもとづいて、ファイルを分割・保存します。保存の進み具合は、ステータス表示に表示されます。

3-1-15. 分割ファイル一覧

指定した区切り位置に基づいて、生成されるファイルと大きさ(長さ)を表示します。ファイル名は、固定で変更できません。変更する場合は、生成後、エクスプローラなどで変えてください。

3-1-16. File Details (元ファイル詳細情報表示)

分割元となるファイルの属性情報を表示します。

3-1-17. Break (ブレークボタン)

現在位置を分割位置に指定します。

4 . 一般的な使い方

ここでは、WaveCutter を使ってファイルを分割する一連の作業の流れを説明します。

4-1. サウンドの分割・編集

ここでは、WaveCutter を利用して、大きな WAV ファイルを適当な大きさに区切り、分割された WAV ファイルを生成する手順について説明します。操作方法については、前章のリファレンス(各部の説明)をご覧になりながらお読みいただくと、理解しやすいと思

います。大まかな作業の流れは、以下のとおりです。

ファイルの選択・読み込み
(無音検知つき)

再生を繰返しながら分割位置を決定 / 指定

分割ファイルの生成

4-1-1. ゼロレベルの設定

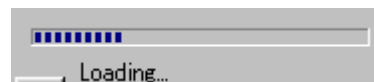
ファイルの読み込みにあたって、ゼロレベルを設定します。ゼロレベルとは、WaveCutter が WAV ファイルを読む込む再にも無音とみなす基準レベルです。「Zero Level」スライダーをドラッグして調整します。音楽 CD、LP レコードで曲間のノイズがほとんどないものであれば 200 くらい、ライブなどで背景にざわめきなどが入っている場合は、1000～2000 位に設定します。後でやりなおすこともできますので、まずはラフな設定でかまいません。



4-1-2. 分割元 WAV ファイルの読み込み

ゼロレベルを設定したら、メニューから File-Open を選択します。ファイルオープンダイアログボックスが表示されますので、分割する元 WAV ファイルを選択して、「開く」のボタンを押します。

すると、ファイルの読み込み状況がステータス表示に表示されます。10分程度のWAVファイルであれば、10～20秒程度で読み込みが終了します。



読み込みが終了すると、「WAV ファイル編集グリッド」にファイルの無音状態などが秒単位で表示されます。

Position	S	Offset	B
00:06:49	0		
00:06:50	0		
00:06:51	0		
00:06:52	0		
00:06:53	0		
00:06:54	0		
00:06:55	0		
00:06:56	0		
00:06:57	X	0	
00:06:58		0	
00:06:59	X	0	
00:07:00	X	0	
00:07:01	X	0	
00:07:02	X	0	
00:07:03		0	

WAV ファイル編集グリッドの概略

Position: : 時 : 分 : 秒でファイル中の位置を示します

S(Silence) : 無音検知の結果、無音と判別された場合 X を表示します。空欄の場合は音有です。

B (Break) : 分割位置として指定した場合、B を表示します。

無音部がうまく検知されていない場合は、ゼロレベルを調節して、Re-load ボタンを押し、読み込み直してみます。

【より正確な無音検知のために】

分割元ファイルの読み込みが終了すると、「WAV ファイル編集グリッド」の S 欄にその秒数地点の音の有無を表示します（音がない場合、X を表示）。無音部分があるのに X がまったく表示されない場合、あるいは、X が無音部以上に多すぎる場合は、ゼロレベルを調整して検知をやりなおします。X がまったく表示されない場合は、ゼロレベルを下げ、「Re-load」ボタンを押します。X が多すぎる場合は、ゼロレベルを上げ、「Re-load」ボタンを押します。

【ゼロレベル検知の正確さについて】

数十分におよぶ WAV ファイルは非常に巨大ですので、ある部分が無音かどうかを正確に検知しようとする処理速度が遅くなります。WaveCutter では、軽快に操作できることに重点をおき、正確さよりも処理速度を優先しています。そのため、ゼロレベルの検知が必ずしも正確でない場合があります。ゼロレベル検知は、目安としてご利用ください。

4-1-3. 再生

ファイルを読み込んだら次は再生して音を確認しながら分割位置を指定していきます。「WAV ファイル編集グリッド」の適当な位置をクリックすると、その位置が現在位置となります。「音声操作ボタン群」の「Play」ボタンを押すか、「WAV ファイル編集グリッド」上で直接ダブルクリックをすると現在位置から再生が始まります。

再生中に「WAV ファイル編集グリッド」の適当な位置をクリックすると、クリッ

クした位置に再生位置が飛びます。「WAV ファイル編集グリッド」のスクロールバーを操作して、現在再生中の位置から遠く離れたところに再生位置を飛ばすこともできます。

再生を停止するには、「Stop」ボタンを押すか、「WAV ファイル編集グリッド」上でダブルクリックします。

「WAV ファイル編集グリッド」の S 欄に表示された無音マーク（X 印）右上に表示されている「現在位置」、「直前の分割位置からの時間」などを参考に、分割位置を決めます。

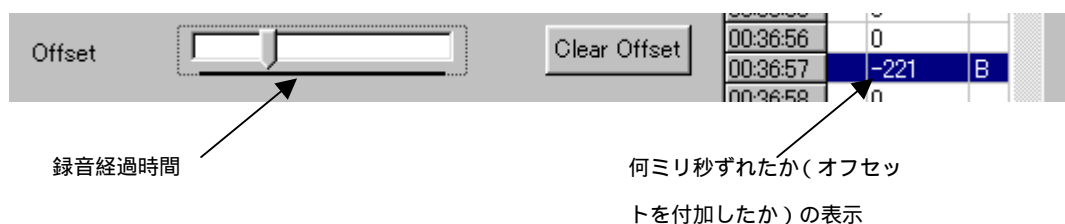
4-1-4. 分割位置指定

4-1-3.の再生操作を繰り返して、分割位置を秒単位で決めます。分割位置（先頭位置）を指定するには、再生を停止した状態で「WAV ファイル編集グリッド」上でクリックします。そして右クリックすると「Break/UnBreak」というメニューが表示されますので選択します。または、「Break」ボタンを押しても同じことができます。すると、「WAV ファイル編集グリッド」の「B」欄に「B」マークが表示され、その位置が分割位置に指定されたことを示します。

同時に、「分割ファイル一覧」に指定した分割位置で区切った場合に生成されるファイルの一覧が表示されます。

4-1-5. 分割位置の微調整

分割位置の指定が秒単位では荒い場合は微調整します。オフセット機能を用いることで、秒単位で指定した分割位置をミリ秒（1000 分の 1 秒）単位で微調整できます。

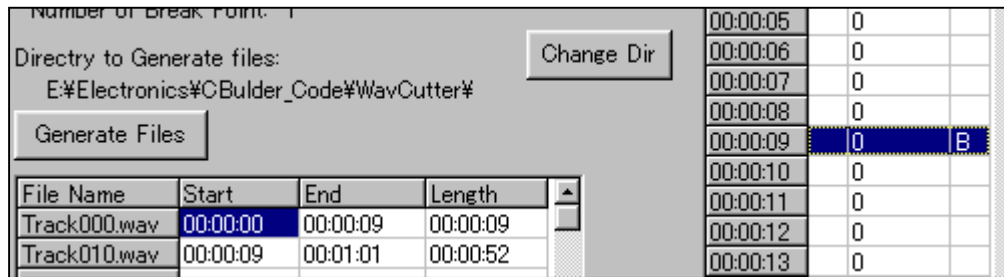


オフセットスライダーを左右にドラッグすると、区切り位置（B マークのある位置）にオフセットがかかり、秒単位の分割位置に対しどのくらいずらしたかが表示されます。

4-1-6. 再生による分割位置確認

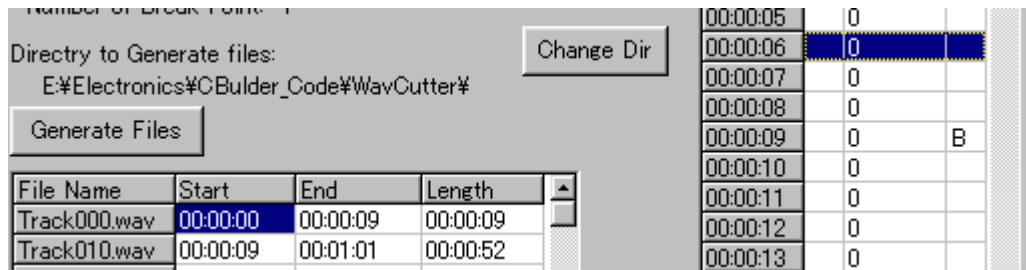
分割位置が正しいかどうかは、再生して確認することができます。

a) 分割位置からの再生開始



分割位置 (B マークのついた位置) をクリックして、「Play ボタン」を押します。すると、分割位置から再生が始まりますので、再生開始位置という観点で分割位置が正しいことを確認します。

b) 分割位置までの再生



分割位置 (B マークのついた位置) の少し手前をクリックして、「PLAY to Break ボタン」ボタンを押します。すると、分割位置まで再生して停止しますので、再生終了位置という観点で分割位置が正しいことを確認します。

3～6 の作業を繰り返して、全ての分割位置を設定します。

4-1.7. 分割した WAV ファイルの生成

全ての分割位置を設定したら、「Generate Files」ボタンを押します。すると、分割ファイル一覧に表示されたファイルが作成されます。

ファイルの作成されるフォルダは、元 WAV ファイルと同じフォルダです。清々するフォルダを変更するには、事前に「Change Dir」ボタンを押してフォルダを変更しておきます。

... End of User Guide ...